

第 19 回 東京都公金管理アドバイザー会議 議事要旨

日 時	令和 5 年 1 月 24 日 (火) 13:15 ~ 14:35
方 法	WEB 会議
出席者	委員) 渥美委員、今井委員、内山委員、根本委員 計 4 名 事務局) 須藤局長、有金管理部長、伊藤担当部長 (総務課長事務取扱)、安武公金管理課長、瀧澤資金運用担当課長、春日井統括課長代理 (企画調査総括)、松原課長代理 (運用管理担当)、山本主任、鈴木主任 計 9 名
欠席者	なし
議 題	(1) 邦銀の中間決算を踏まえた評価について (案) (2) 外銀の中間決算等を踏まえた評価について (案) (3) 債券発行体の動向等を踏まえた評価について (案)
報告事項	(1) 公金の運用状況について
要 旨	<p>(1) 委員紹介 (新規就任委員 2 名を含む)</p> <p>(2) 会計管理局長挨拶</p> <p>(3) 第 19 回東京都公金管理アドバイザー会議の公開・非公開の取り決め 事務局 本会議は、新型コロナウイルス感染症の流行を鑑みて対面の接触を回避する必要があるため、傍聴者の受入れを見合わせた。また、本会議は設置要綱により、公開もしくは非公開について、委員の意見を聞くこととなっている。 委員 議題の内容を踏まえ、全員が非公開での実施が適当と表明。</p> <p>(4) 議題 (1) 邦銀の中間決算を踏まえた評価について (案) 事務局 預金先金融機関 (邦銀) の経営状況について、中間決算を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関 (邦銀) の評価等を報告した。 委員 預金先金融機関 (邦銀) の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。 委員 米国金利、また国内金利の変動は、銀行における有価証券投資に大きく影響することになると考えられる。 委員 昨年末から大きく変動している国内金利の影響を受け、地銀の中には、3 月期本決算で有価証券評価損等を大きく計上するところがあると想定されるので、一層の注意が必要と思われる。 委員 金利変動の影響などでの地銀等における経営状況悪化の可能性も想定し、特に都が多くの預金をしているところは、しっかりモニタリングしておくとうい考える。</p> <p>(5) 議題 (2) 外銀の中間決算等を踏まえた評価について (案) 事務局 預金先金融機関 (外国銀行) の経営状況について、中間決算等を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関 (外国銀行) の評価等を報告した。</p>

委員 預金先金融機関（外国銀行）の評価内容とそれに応じた預金の対応については、適正なものとする。

委員 外国銀行については、本国との間の資金流動性について、ヒアリングなどを通じて個別に把握しておくことも重要であるとする。

委員 更なる安全性向上を図るべく、預金の分散を更に進めていくため、信用力の高い外国銀行については、地域性の多様化も考慮に入れつつ、新たな預金先の検討を行っていくのもよいとする。

（6）議題（3）債券発行体の動向等を踏まえた評価について（案）

事務局 債券発行体の経営状況について、決算等を踏まえて、健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものとする。

委員 債券は、相対的に長期間保有することが想定されていると思うので、購入時はもとより、その後保有している期間における監視も、精緻に徹底していくことが重要とする。

（7）報告事項（1）公金の運用状況について

事務局 新たな預金先との取引も含む、分散化を進めた預金の運用状況について説明した。

委員 預金先金融機関の分散化が進んだことは評価できる。

委員 今後も、仮に預金先金融機関の急激な信用不安が生じた場合において公金の安全性を確保していけるよう、適切なモニタリングとその対応などを想定した体制を整えておくことが重要とする。

委員 今後、更に金利が上昇してくれば、効率性を確保していく選択肢が広がってくるかもしれないので、市場や金融機関の動向には注視すると良いとする。

以上